

**業界トップクラスの低消費電力を実現したオフィス向け複合機 4 モデルを発売
IT 環境に最適なセキュリティー設定を簡単に実現できサイバー攻撃のリスクを低減**

キヤノンは、オフィス向け複合機の新製品として、A3/A4 カラー複合機「imageRUNNER ADVANCE DX（イメージランナー・アドバンス・ディーエックス）」2 シリーズ 4 モデルを 2023 年 8 月上旬より順次発売します。



imageRUNNER ADVANCE DX C3935F
* オプション装着時



imageRUNNER ADVANCE DX C359F

新製品はいずれも、高速印刷や高速スキャンを維持しながら、業界トップクラスの低消費電力を実現するなど、使用時の環境負荷を低減したモデルです。ランサムウェアや不正アクセスなど巧妙さを増すサイバー攻撃に備えるため、セキュリティー機能も強化しており、IT 環境下でのオフィス業務に安心を提供します。

1. 低温定着トナーや段ボール梱包材の採用により環境負荷を低減

転写効率を高めた低温定着トナーを採用することで、従来機種に比べ消費電力を最大約 15%低減^{※1}し、業界トップクラスの標準消費電力量（TEC 値）^{※2}を実現しています。本トナーは、印刷終了時に回収される転写残トナーの発生が少なく、同じ回収トナー容器を使用したまま印刷できる枚数は従来機種の約 2 倍に延びています。特に印刷量が多い環境では、トナーを廃棄する量が減り、環境負荷の低減につながります。また、A3 モデルにおいて、本体の梱包はプラスチック素材（EPS）ではなく、すべて段ボール紙を使用しています。

2. 新たに「おすすめセキュリティー設定」機能を搭載し多様なオフィス環境でのセキュリティー対策を支援

操作パネル上から本体の使用環境を選択するだけで、適切なセキュリティー設定が自動で行われる「おすすめセキュリティー設定」機能を新搭載し、専門知識を有する IT 担当者がいない企業でも、セキュアな環境下で使用できます。また、日本を含め多くの国・地域でサイバーセキュリティー対策レベルの参考にされている、米国政府機関が定めたセキュリティー基準のガイドライン「NIST SP 800-171/172/193」に対応し、起動時のプログラム改ざんを検知した場合の自動復旧機能を搭載するなど、サイバー攻撃に対する防御、検知、復旧に関する高度な基準をクリアしています^{※3}。加えて、JBMIA^{※4}が策定した、複合機を SOHO/一般オフィスで使用する際のセキュリティー要件への適合を示す「BMSec（Business Machine Security）」マークを取得予定^{※5}です。

3. ファームウェアの自動アップデート機能やクラウドサービス連携により業務効率向上を支援

ファームウェアの自動アップデートにより本体システム機能の利便性やセキュリティー性能は継続的に進化していきます。さらに、クラウドサービスと連携することで、スキャンしたデータを直接クラウドへ送信できるなど、業務効率向上に貢献します。2023 年秋に、電子帳簿保存法に対応する中小企業向けの業務支援アプリケーション「MEAP クラウドスキャン for NI Collabo」（2022 年 4 月発売）が機能拡張し、支払管理・経費精算に対応可能となります。2023 年末までには、ユーザーが簡単にクラウドと接続し印刷やスキャンを行うことができる新サービスの提供も予定しています。

※1. A3 モデルのみ。従来機種は「imageRUNNER ADVANCE DX C3835F/C3830F/C3826F」（2021 年 10 月発売）。

※2. 国際エネルギースタープログラム使用製品（25～35 枚/分クラスのコピー/ファクス/スキャナー機能付きのデジタルカラー複合機）との比較において、2023 年 8 月 1 日現在。（キヤノン調べ）

※3. 本基準の詳細を記した「セキュリティーホワイトペーパー」の URL：https://oip.manual.canon/USRMA-6944-zz-CSPS-jaJP/contents/index.html

※4. 一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会。「Japan Business Machine and Information System Industries Association」の略。

※5. 2023 年 8 月中旬に取得を予定。セキュリティー要件への適合の確認は、申請者自身（キヤノン）が行います。

製品名	希望小売価格（税別）	発売日
imageRUNNER ADVANCE DX C3935F/C3930F/C3926F（A3モデル）	177万円～	2023年8月下旬より順次
imageRUNNER ADVANCE DX C359F（A4モデル）	82万円～	2023年8月上旬

-
- 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター 0570-08-0056
 - オフィス向け複合機ホームページ : canon.jp/office-mfp

〈主な特長〉

1. 低温定着トナーや段ボール梱包材の採用により環境負荷を低減

- 低温定着トナーにより、従来機種に比べ消費電力を最大約 15%低減し、業界トップクラスの標準消費電力量（TEC 値）を実現。
- 印刷終了時に回収される転写残トナーの発生が少ないため、同じ回収トナー容器を使用したまま印刷できる枚数が従来の約 2 倍に増加。回収トナーの廃棄量を削減。
- 本体の梱包にはプラスチック素材（EPS）ではなく、すべて段ボール紙を使用。
- 低温定着トナーにより ITB（転写ベルト）の劣化を抑え、長寿命化。
- 自社工場における生産過程で発生した端材プラスチックを 100% 使用したドラムケースを採用※1。

※1. A3 モデルのみ。



梱包に使用していたプラスチック素材（左）を段ボール紙に変更

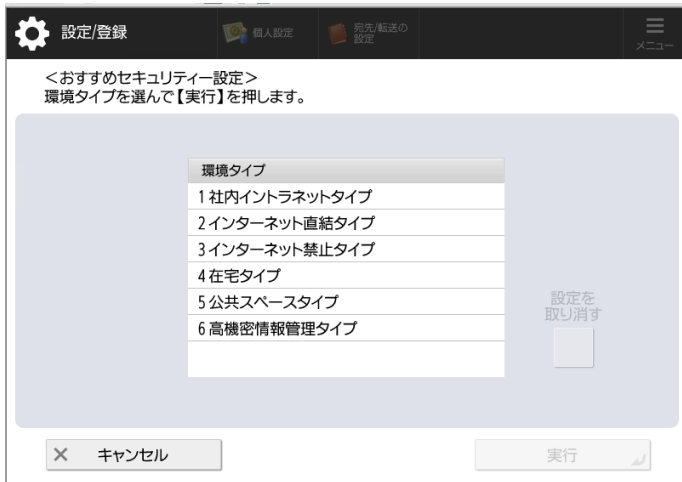


端材プラスチックの再利用

2. 新たに「おすすめセキュリティー設定」機能を搭載し多様なオフィス環境でのセキュリティー対策を支援

- 操作パネル上から本体の利用環境を選択するだけで、適切なセキュリティー設定が自動で行われる「おすすめセキュリティー設定」機能を搭載。
- 米国政府機関が定めたセキュリティー基準を示すガイドライン「NIST SP 800-171/172/193」に対応し、本体起動時のプログラム改ざんを検知した場合の自動復旧機能などを搭載。
- 「ネットワーク機能付き事務機セキュリティーガイドライン」への適合を示す「BMSec」マークを取得予定。
- SSD を標準装備し、信頼性を向上。
- ストレージのデータ漏洩を防止するための強固な暗号化チップを搭載し、「FIPS140-3 認証※1」を取得予定。
- IT 管理者が PC から複合機の本体設定を変更可能なりモート UI においても二要素認証を設け、モバイル端末と連携したワンタイムパスワード認証を追加可能。

※1. 暗号モジュールに関するセキュリティー要件の仕様を規定する米国連邦標準規格。



操作パネル上の「おすすめセキュリティ設定」



「BM Sec」マーク

3. ファームウェアの自動アップデート機能やクラウドサービス連携により業務効率向上を支援

- ファームウェアの自動アップデートにより本体システム機能の利便性やセキュリティ性能が継続的に進化。
- クラウドサービスと連携し、スキャンしたデータを直接クラウドへ送信できるなど、業務効率の向上に貢献。
- 2023 年中に、電子帳簿保存法に対応する中小企業向けの業務支援アプリケーション「MEAP クラウドスキャン for NI Collabo」の機能拡張（経費精算、支払管理）と、ユーザーが簡単にクラウドと接続し印刷やスキャンを行うことができる新サービスの提供を予定。

〈キヤノン製複合機のセキュリティ対策について〉

- 複合機本体（DEVICE）、ネットワーク（NETWORK+ CLOUD）、印刷物（DOCUMENT）の全方位からセキュリティ対策を実施。また、高度なセキュリティを実現しながら管理の容易性を両立し、管理者の負荷を低減。

全方位防衛

DEVICE Security
複合機本体を守る

未知の脅威に備え、複合機のシステムやデータを複数の手段で多層的に防衛します。

NETWORK+ CLOUD Security
盗聴させない/なりすましから守る

最新の暗号技術を用い、ネットワーク上のデータを盗聴から守ります。
また、最新の証明書技術を用い、外部サービスへの安全な接続を提供します。

DOCUMENT Security
文書から情報漏洩させない

放置文書からの情報漏洩や、文書の改ざんを防ぐため、複合機で印刷する文書を守ります。

容易な管理

EASY Management

安心と簡単な両立

高度なセキュリティを実現しつつ
管理者の負荷を増やしません。

本体・ネットワーク・印刷物の全方位を防御するセキュリティ対策

- DEVICE Security においては、起動時にプログラム改ざんの有無を検証し、安全性を確認して起動を実行。問題があった場合は起動を停止、または自動で復旧し、不正なプログラムによる被害を未然に防止。
- NETWORK+ CLOUD Security においては、2 系統の LAN、通信の強固な暗号化プロトコル「TLS1.3」の搭載に加え、無線 LAN のセキュリティープロトコル「WPA3」の規格と、不正アクセスを防止するユーザー認証規格「IEEE802.1X」に対応しており、ネットワーク上のデータ保護とクラウドへのセキュアな接続を実現。
- DOCUMENT Security においては、本体パネルで指示をしてから印刷を開始する留め置き印刷に対応し、印刷物の放置や持ち去りを防止。
- EASY Management においては、使用環境に最適な設定を提案する「おすすめセキュリティー設定」に対応。セキュリティーに関する専門知識がなくてもセキュアな使用環境を構築。また、管理者向けの IT 監視システム「SIEM」に対応し、管理者の負荷を軽減。

〈製品仕様について〉

製品仕様の詳細はキヤノンホームページをご参照ください。

〈複合機の市場動向〉

複合機に対しては、環境問題への対応やサイバー攻撃に備えたセキュリティー性能の強化といったニーズがこれまで以上に高まっています。複合機市場の 2022 年の出荷台数は国内で約 49 万台、全世界で約 386 万台でした。
(キヤノン調べ)